

Active Learning Workbook for
English Conversation with Verb Cue Words

動詞キューワードで学ぶ

アクティヴラーニング英会話ワークブック

指 導 書

- I. 学習指導書(ユニット共通) p. 2-3
- II. 学習指導書(ユニット別) p. 4-11
 - 1. Unit 1: p. 4
 - 2. Unit 2: p. 5
 - 3. Unit 3: p. 6
 - 4. Unit 4: p. 7
 - 5. Unit 5: p. 8
 - 6. Unit 6: p. 9
 - 7. Unit 7: p. 10
 - 8. Unit 8: p. 11

1. 学習指導書(ユニット共通)

Step 1. サンプル英文を読んで自分のスピーチの参考にします。

- 注意点** ・この時にサンプル英文がイントロダクション Introduction、本論 Body、結論 Conclusion の構成であることを確認します。
- ・Unit ごとに学習する文法項目が設定されていますので(下線付き)、それらを意識しながら英文を読み進めます。

Step 2. スピーチの英文を作成します。

- 注意点** ・英文スピーチの原稿は、イントロダクション、本論 1、本論 2、結論の構成で作成します。サンプル英文を参考にして英文原稿を作成します。
- ・英文は中学生レベルの英語で十分であると指導することをお勧めします。
 - ・また、Unit 毎に設定されている文法を使うように指導します。
 - ・サンプル英文の英語を真似て自分の原稿英文を作成するように指導しても良いでしょう。(真似ることとコピーすることとは異なると考えます。)
 - ・多少の英語の間違いがあっても、添削は最小限にとどめます。学習者のモチベーションを尊重し、自律的な上達に期待しましょう。
 - ・スマホやパソコンのインターネットを使って、英語の情報を参考に英文を作成するのも、英語読解の練習になり、英語学習が知るための手段であることを実感するでしょう。
 - ・スマホでフリーの翻訳サイトを使おうとする学習者もいるでしょう。この時、翻訳機が間違った英語を答え完全でないことも指導します。どこがどのように間違っているのかを学ぶ、貴重な学習の機会になるでしょう。

“Hi! Nice to Meet You!”	
《Introduction》	
Salutation &	_____
Attention Getter:	_____
Main Idea:	_____
Family:	_____
Personality:	_____
Overview:	_____
《Body 1》	

Step 3. 巻末のキューカード (Unit 1-8) に動詞またはシグナルワードを記入して完成し

ます。

注意点・キリトリセンで切り取り、キューカードにします。

・一つの下線に動詞、動詞句を記入します。一つの文が終了する目印として//を記します。例：play // Moreover like //

・記入する下線が余った時はシグナルワードもキューワードとして記入します。シグナルワードとは、話の流れを導くための道標となる語や言い回しのことで、スピーチの流れを示してくれて、話しやすくなります。

例：Firstly

・以下がスピーチに効果的なシグナルワードの例です。

順接：and, so, then, therefore, accordingly, as a matter of course

列挙：one…the other, first…next…, first…second…third,

理由：because, because of, due to, since, for, as, this is mainly

because

動機/目的：in order to, for this purpose, to solve this problem,

類似を表す：similarly, likewise, also, in a similar manner

逆説/対照：but, however, although, while, whereas, in spite of this,

yet, nevertheless, on the other hand, on the contrary,

焦点を絞る：especially, in fact, particularly, as a matter of fact, a curial point

追加：also, moreover, furthermore, in addition, at the same time,

仮定/条件：if, in case, as far as, as long as

例を表す：for example, for instance

Step 4. 音読練習をしましょう。

注意点・作成した英文を数回音読します。英文をまる暗記する必要はありません。

・不安に思う学習者もいるかもしれませんが、完璧に上手く話す必要はないことを伝えてください。英文を自分で作成したということは、英文力があるということです。自分の力を信じてチャレンジすることを学習者にすすめてください。

・「立て板に水」のように上手く話すよりも、ゆっくり考えながら、思い出しながら話す方が、実は聞き手は興味を持って話を聞いてくれるものです。

・ゆっくりで良いので、Cue Cardsを見て英文を思い出しながら、間違いを恐れずに話すようにすすめてください。日本人も日本語を話す時に、いつも正しい日本語を話していないことを例に、不安を取り除いてあげても良いでしょう。

Step 5. キューカードを見ながらスピーチをします。

注意点・教室の皆の前で発表するか、グループを作ってその中で発表し合うのも良いでしょう。

・この時はなるべく日本語の使用は避けましょう。

・発表者の緊張を和らげるために、指導者が英語で相槌を打ったり、小さな質問を差しはさんでも良いでしょう。それによって自然なスピーチや会話にもなります。実は英語母語話者の彼らも、スピーチの場で、聞き手が相槌をうったりコメントを発することがよくあります。スピーチを静かに一方向で聞く時もありますが、双方向で行ってスピーチが盛り上がるのも楽しく、英会話の上達につながるでしょう。

Step 6. 聞き手は PEER ASSESSMENT SHEET に発表内容を聞き取り、内容を書き込みます。この時、ライティングの練習になりますので、英語で書きとめると良いでしょう。学習者の英語のレベルに応じて、英単語で記入、英文で記入を使い分けても良いでしょう。

Unit 1	PEER-ASSESSMENT SHEET	No. : _____	Name: _____
Presenter	Personality	Hobbies	Dream
1.	_____	_____	_____
2.	_____	_____	_____

注意点・スピーチを評価する際は、スピーチの評価だけでなく、この PEER-ASSESSMENT SHEET を提出させてリスニング力や授業参加度を評価することもできます。

指導書(ユニット別)

Unit 1 “Hi! Nice to Meet You!” 「自己紹介」

Step 1. サンプル英文 (P. 8) を読んで自分のスピーチの参考にします。

・ サンプルスピーチの構成

Introduction : Salutation(挨拶)→Attention Getter (聞き手の興味を導く) →
Main Idea (一番言いたいこと) →Family (家族について) →
Personality (自分の性格をアピール) →Overview (スピーチの
流れを紹介)

Body 1 : 「自分の趣味」について

Body 2 : 「自分の将来の夢」について

Conclusion : 再会を願う

・ 使いたい語句

major in ～を専攻する／My older brother 兄／my younger brother 弟／
I'm little shy.少し恥ずかしがり／friendly 人付き合いが良い／outgoing
社交的／belong to～部活等に所属している／To make my dream come
true 夢を実現する／look forward to ～(名詞または動名詞)、～を楽し
みにする

・ 使いたい文法

To 不定詞 : to play, To make my dream come true, to study, to give up
動名詞 : like meeting, enjoy playing, way of thinking, Studying,
look forward to meeting

Step 2. スピーチの構成に注意して英文原稿を P.9 に作成します。

Step 3. 巻末のキューカード (巻末 Unit 1) に動詞またはシグナルワードを記入して完
成
させましょう。キリトリセンで切り取り、キューカードとして利用します。

Step 4. 音読を数回します。学習者に英文を暗記させる必要はありません。
暗記することによって、間違いを恐れ、英語で話すことを躊躇してしまい苦手意
識を持ってしまうかもしれません。

Step 5. キューカードを見ながらスピーチをします。教室の皆の前で話すことが難しいよ
うなら、グループを作って、その中でスピーチし合うのも良いでしょう。キュー
カードの上に評価 (SCORE) を記入することができます。

Step 6. 聞き手は PEER ASSESSMENT SHEET (P. 10-11) に発表内容を聞き取ります。
この時、英語で書きとることをお勧めします。仲間のスピーチを聞き取り書き留
めることで、リスニングやライティング練習になるでしょう。

Unit 2 “My Hometown” 「故郷」

Step 1. サンプル英文 (P.12) を読んで自分のスピーチの参考にします。

・ サンプルスピーチの構成

Introduction : Salutation(挨拶)→Attention Getter (聞き手の興味を導く) →
Main Idea (「故郷」を提示) →Overview (スピーチの流れを

紹介)

Body 1 : 「故郷」の位置・人口・観光スポットの紹介

Body 2 : 「故郷」の特におすすめの場所や行事の紹介

Conclusion : 故郷への訪問を勧誘

・使いたい語句

grow up 育つ / what makes it special 特筆すべきこと / be located 位置している / be surrounded by ~ に囲まれている / be captivated 魅了される / is designated 選定される / folk craft 民芸品 / is held by ~ によって催される / citizens 市民

・使いたい文法

シグナルワード : But, so, Today, In spring, In winter, Moreover, such as, In addition to these, During,

- Step 2.** スピーチの英文原稿を P.13 に作成します。
この時、スマートフォオンやパソコンを使って、各自、故郷のホームページの英語版を参考にしても良いでしょう。市区町村ホームページには英語版も併記しており、それらを読むことで英文読解の練習にもなります。
- Step 3.** 巻末のキューカード (巻末 Unit 2) に動詞、シグナルワードを記入して完成させます。キリトリセンで切り取り、カードにします。
- Step 4.** 英文原稿を数回音読します。学習者に英文を暗記させる必要はありません。暗記することによって、間違いを恐れ、英語で話すことを躊躇してしまい苦手意識を持ってしまうからです。
- Step 5.** キューカードを見ながらスピーチをします。教室の皆の前で話すことが難しいようなら、グループを作って、その中でスピーチし合うのも良いでしょう。キューカードの上に評価 (SCORE) を記入することができます。
- Step 6.** 聞き手は PEER ASSESSMENT SHEET (P. 14-15) に発表内容を聞き取ります。仲間のスピーチを聞き取り書き留めることで、リスニングやライティング練習になるでしょう。

Unit 3 “My Most Prized Possession” 「かけがいのない物」

- Step 1.** サンプル英文 (P.16) を読んで自分のスピーチの参考にします。

・サンプルスピーチの構成

Introduction : Salutation(挨拶) → Attention Getter(聞き手の興味を導く) → Main Idea (「かけがえのない物」を提示し経緯を説明) → Overview (スピーチの内容の流れを紹介)

Body 1 : 「かけがえのない物」の大きさ、重さ、形状を説明

Body 2 : 「かけがえのない物」である理由を説明

Conclusion : この「かけがえのない物」によって何が得られたかを説明

・使いたい語句

possession 所有物 / cherish 大切に作る / care for 気遣う / function 機能
/ auto-focus 自動絞り / image quality 画質 / attached 付属の / wrist strap
リストストラップ / connect つなぐ / edit 編集する / thanks to ~のおかげ
で / broaden 広げる /

・使いたい文法

7 cm tall, 10 cm wide, 2 cm thick, 10 cm in length, It weighs only 150 g.

Step 2. スピーチの英文原稿を P.17 に作成します。
「かけがえのない物」がクラスの中で偏らないように注意が必要かもしれません。
特に対象がスマホやゲーム機などに偏りやすく、同じ内容のスピーチになっ
てしまいますので、注意が必要かもしれません。

Step 3. 巻末のキューカード (巻末 Unit 3) に動詞またはシグナルワードを記入して、カ
ードを完成させましょう。この Unit では、物のサイズ・重さ・形状を英語で話
す練習をします。これらもキューカードに記入して、英語表現を使えるようにし
ましょう。キリトリセンで切り取り、キューカードとして利用します。

Step 4. 原稿を見ながら数回音読します。学習者に英文を暗記させる必要はありません。
暗記することによって、間違いを恐れ、英語で話すことを躊躇してしまい苦手意
識を持ってしまうかもしれません。

Step 5. キューカードを見ながらスピーチをします。教室の皆の前で話すことが難しいよ
うなら、グループを作って、その中でスピーチし合うのも良いでしょう。キュー
カードの上に評価 (SCORE) を記入することができます。

Step 6. 聞き手は PEER ASSESSMENT SHEET (P. 18-19) に発表内容を聞き取ります。
仲間のスピーチを聞き取り書き留めることで、リスニングやライティング練習に
なるでしょう。

Unit 4 “My Dream Job” 「夢の職業」

Step 1. サンプル英文 (P. 20) を読んで自分のスピーチの参考にします。

・サンプルスピーチの構成

Introduction : Salutation(挨拶) → Attention Getter(聞き手の興味を導く) →
Main Idea (「夢の職業」を提示) → Overview (スピーチの流れを示す)

Body 1 : 「夢の職業」について

Body 2 : 「夢の職業」に就くための準備について

Conclusion : 「夢の職業」への決意

・使いたい語句

have something to do with ～と関係のある／run 経営する／in order to ～、～するために／businesses related to ～、～に関する仕事／specifically 具体的に言う／more and more ますます多くの／to make my dream come true 夢を実現するために／have a lot of things to do やるべきことが沢山ある／last but not least 最後に述べますが大切なこと／deepen 深める／widen 広げる／keep ～ing、～し続ける

・使いたい文法

現在完了形 : I have been interested in computer science since I was ～

未来形 : I will talk about ～／I will present ～／will depend on computer networks／I' m going to build／it will not be easy／I will never give up on my dream and will keep working hard.／

Step 2. スピーチの英文原稿を P.21 に作成します。英語サイトで職業を検索しましょう。

Step 3. 巻末のキューカード (巻末 Unit 4) に動詞またはシグナルワードを記入して完成させましょう。キリトリセンで切り取り、キューカードとして利用します。

Step 4. 音読を数回します。学習者に英文を暗記させる必要はありません。暗記することによって、間違いを恐れ、英語で話すことを躊躇してしまい苦手意識を持ってしまうかもしれません。

Step 5. キューカードを見ながらスピーチをします。教室の皆の前で話すことが難しいようなら、グループを作って、その中でスピーチし合うのも良いでしょう。キューカードの上に評価 (SCORE) を記入することができます。

Step 6. 聞き手は PEER ASSESSMENT SHEET (P. 22-23) に発表内容を聞き取り記入します。仲間のスピーチを聞き取り書き留めることで、リスニングやライティングの練習になるでしょう。

Unit 5 “A Person from History That I Respect” 「尊敬する歴史上の人物」

Step 1. サンプル英文 (P.24) を読んで自分のスピーチの参考にします。

・サンプルスピーチの構成

Introduction : Salutation(挨拶)→Attention Getter (聞き手の興味を導く) → Main Idea (「尊敬する歴史上の人物」を提示する) → Overview (スピーチの流れを紹介)

Body 1 : 「尊敬する歴史上の人物」の人となりについて

Body 2 : なぜ尊敬するのか理由を説明

Conclusion : サマリー

・使いたい語句

dedicate his life to Japan 人生を日本のために捧げる／eventually 最終的に／opened up Japan 開国した／regardless of ～、～にもかかわらず／beacon of ～、～の指針／at the cost of ～、～を犠牲にして

・使いたい文法

関係代名詞・Ryoma Sakamoto, who was a brave samurai in the Edo period of Japan

・Sakamoto was born in Tosa, which is in Kochi

・The reason why I respect Ryoma is that

Step 2. スピーチの英文原稿を P.25 に作成します。英語サイトで「歴史上の人物」を検索しても良いでしょう。英文読解の練習にもなります。

Step 3. 巻末のキューカード（巻末 Unit 5）に動詞またはシグナルワードを記入して完成させましょう。キリトリセンで切り取り、キューカードにして利用します。

Step 4. 音読を数回します。学習者に英文を暗記させる必要はありません。

暗記することによって、間違いを恐れ、英語で話すことを躊躇してしまい苦手意識を持ってしまうかもしれません。

Step 5. キューカードを見ながらスピーチをします。教室の皆の前で話すことが難しいようなら、グループを作って、その中でスピーチし合うのも良いでしょう。キューカードの上に評価（SCORE）を記入することができます。

Step 6. 聞き手は PEER ASSESSMENT SHEET (P. 26-27) に発表内容を聞き取ります。仲間のスピーチを聞き取り書き留めることで、リスニングやライティング練習になるでしょう。

Unit 6 “Exciting Discovery” 「胸躍る発見」

Step 1. サンプル英文 (P.28) を読んで自分のスピーチの参考にします。

・スピーチの構成

Introduction : Salutation(挨拶)→Attention Getter (聞き手の興味を導く) → Main Idea (「胸躍る発見」を提示) → Overview (スピーチの流れを紹介)

Body 1 : 「胸躍る発見」について説明

Body 2 : なぜその発見が「胸躍る発見」なのか理由を説明

Conclusion : 「胸躍る発見」と自分の将来

・使いたい語句

go back to my junior high school days 中学校時代に遡る／in prehistoric times 有史以前に／no less beautiful than modern arts 現代アートに劣らない

・使いたい文法

受動態・The Lascaux Cave is located in southwestern France.
・It was accidentally discovered in 1940
・They were surprised to see
・Most of the images were painted onto the walls
・The paintings are estimated
・the Lascaux Cave was added to the list of

Step 2. スピーチの英文原稿を P.29 に作成します。英語のサイトで「胸躍る発見」を検索しても良いでしょう。英文読解の練習にもなります。

Step 3. 巻末のキューカード（巻末 Unit 6）に動詞またはシグナルワードを記入して完成させましょう。キリトリセンで切り取り、キューカードにして利用します。

Step 4. 音読を数回します。学習者に英文を暗記させる必要はありません。暗記することによって、間違いを恐れ、英語で話すことを躊躇してしまい苦手意識を持ってしまうかもしれません。

Step 5. キューカードを見ながらスピーチをします。教室の皆の前で話すことが難しいようなら、グループを作って、その中でスピーチし合うのも良いでしょう。キューカードの上に評価（SCORE）を記入することができます。

Step 6. 聞き手は PEER ASSESSMENT SHEET (P. 30-31) に発表内容を聞き取ります。仲間のスピーチを聞き取り書き留めることで、リスニングやライティング練習になるでしょう。

Unit 7 “If I were the Prime-Minister of Japan” 「もし総理大臣だったら」

Step 1. サンプル英文 (P.32) を読んで自分のスピーチの参考にします。

・スピーチの構成

Introduction : Salutation(挨拶)→Attention Getter(聞き手の注意を引く)→
Main Idea (「もし総理だったら」したいこと) →Overview (スピーチの流れを紹介)

Body 1 : したいこと No.1

Body 2 : したいこと No.2

Body 3 : したいこと No. 3
Conclusion : まとめ

• 使いたい語句

single-use plastics 使い捨てプラスチック / lack of affordable childcare
保育所不足 / multiculturalism 異文化 / realize 実現する

• 使いたい文法

仮定法・What would you do, if you were the Prime-Minister of Japan?

- I would like to give a speech, if I were
- If I were the Prime Minister of Japan, I would work on
- I would solve environmental problems.
- I would bring together scientific experts
- I would limit the production and use of single-use

plastics.

- I would also clean up the

Step 2. スピーチの英文原稿を P.33 に作成します。「総理大臣だったら」したいことを三つ考え、それぞれを本論で述べます。この時に仮定法を使います。

Step 3. 巻末のキューカード (巻末 Unit 7) に動詞またはシグナルワードを記入して完成させましょう。キリトリセンで切り取り、キューカードにして利用します。

Step 4. 音読を数回します。学習者に英文を暗記させる必要はありません。暗記することによって、間違いを恐れ、英語で話すことを躊躇してしまい苦手意識を持ってしまうかもしれません。

Step 5. キューカードを見ながらスピーチをします。教室の皆の前で話すことが難しいようなら、グループを作って、その中でスピーチし合うのも良いでしょう。キューカードの上に評価 (SCORE) を記入することができます。

Step 6. 聞き手は PEER ASSESSMENT SHEET (P. 34-35) に発表内容を聞き取ります。仲間のスピーチを聞き取り書き留めることで、リスニングやライティング練習になるでしょう。

Unit 8 “News & Opinion” 「ニュースと意見」

Step 1. サンプル英文 (P.36) を読んで自分のスピーチの参考にします。

• スピーチの構成

Introduction : Salutation(挨拶)→Attention Getter(聞き手の注意を引く)→
Main Idea (「ニュース」の提示) →Overview (スピーチの流れを紹介)

Body 1 : 「ニュース」についての説明

Body 2 : 「ニュース」についての感じたことや考えを説明

Conclusion : 「ニュース」 から学んだこと

・使いたい語句

less than ~、~以下 / in poverty 貧困で / put every child into school. 子供達に学校教育を受けさせる / a small number of rich people 極少数の富裕層 / The same is true in Japan 同様のことが日本でも言える / the disparity of wealth 富の格差 / keep ~ing、~し続ける

・使いたい文法

比較級/最上級

・ less than

・ more wealth than the 48 poorest countries in the world

・ the three richest people in the world

・ most people in poorer countries have much harder lives than

before.

・ rich people are expanding their wealth more and more

・ this global economic imbalance should be discussed a lot

more

Step 2. スピーチの英文原稿を P.37 に作成します。英語サイトで「ニュース」を検索しましょう。国内ニュースも新聞の英文サイトを参考にすれば読解練習にもなります。

Step 3. 巻末のキューカード (巻末 Unit 8) に動詞またはシグナルワードを記入して完成させましょう。キリトリセンで切り取り、キューカードにして利用します。

Step 4. 音読を数回します。学習者に英文を暗記させる必要はありません。暗記することによって、間違いを恐れ、英語で話すことを躊躇してしまい苦手意識を持ってしまうかもしれません。

Step 5. キューカードを見ながらスピーチをします。教室の皆の前で話すことが難しいようなら、グループを作って、その中でスピーチし合うのも良いでしょう。キューカードの上に評価 (SCORE) を記入することができます。

Step 6. 聞き手は PEER ASSESSMENT SHEET (P. 38-39) に発表内容を聞き取ります。仲間のスピーチを聞き取り書き留めることで、リスニングやライティング練習になるでしょう。
文責) 大月敦子